



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこばと

2020.12

No.441

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



2020 年秋

会員から寄せられた「タカとシギ・チドリの渡り情報」から

日本野鳥の会埼玉 調査部・IT委員会

● 県内各地のタカの渡り状況

☆ 概況

毎年、天覧山（飯能市）と中間平（寄居町）で行っている調査部主催のタカの渡り調査は、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止としました。一方、ホームページでは例年通り専用サイトを設け、会員の皆様から多数の各地のタカの渡り情報をお寄せいただきました。ご協力、誠にありがとうございます。

8月19日から10月6日までの間に、10カ所、122件の情報がありました。結果を図と表1に示しました。最高個体数は9月28日、中間平での90羽でした（サシバ84羽、ハチクマ6羽）。積算個体数は421羽、記録された種類は2科5種、その内訳と個体数はサシバ390羽（10カ所）、ハチクマ20羽（2カ所）、ツミ7羽（3カ所）、トビ2羽（蓮田市 黒浜沼）、ミサゴ2羽（2カ所）でした。

今シーズンで特筆すべきは、9月22日に県東部で見られた動きです。この日、北本自然観察公園で19羽、黒浜沼で16羽のサシバが観察され、その多くが南または西へ渡ったことが確認されました。同じ日に天覧山で151羽（天覧山・タカ渡り観察グループ）、東京都青梅市・羽村市で356羽（日本野鳥の会奥多摩支部）のサシバの渡りが確認されました（Hawk Migration of Japan サイトを参照）。渡りのサシバは時速約40kmで飛ぶと言われています。県東部で観察されたこれらのサシバが、県西部や東京都西部で観察された群れに合流した可能性が高いと考えられます。これまでも何度か報告したように、黒浜沼など県東部でサシバが多く見られるのは9月中旬までです。県西部での渡り数が増える9月下旬に、県東部で2ヶ所のまとまった渡りが観察されたことがあまりなかったのですが、今年はようやく「サシバが埼玉県を東から西へ渡っていった」ということが実感として捉えられたように思います。

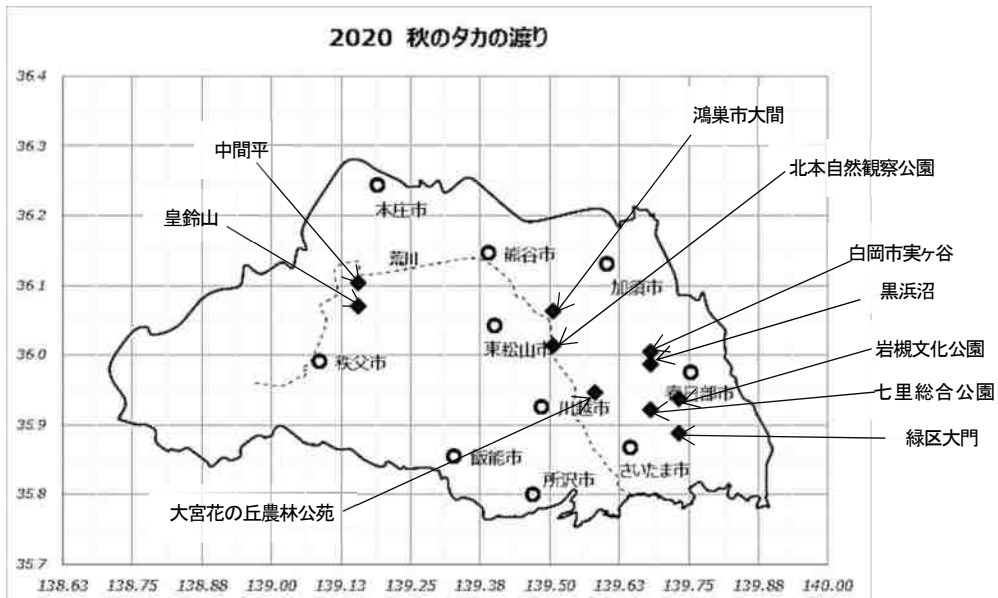


図 観察情報があつた地点

表1 各地の観察結果

観察地	種名	南	西	南西	北西	北	東	不明	飛翔 のみ他	観察期間または観察日
北本自然観察公園 (北本市)	サシバ	18	2	3					1(声)	8月22日～9月22日
	ツミ			2						9月22日
黒浜沼(蓮田市)	サシバ	4	16	4	2	3	2	9	8	9月1日～10月3日
	トビ						2			9月9日
	ミサゴ								1	9月9日
中間平(寄居町)	サシバ	6		244						9月4日～10月3日
	ハチクマ			14						9月14日～10月2日
皇鈴山(東秩父村)	サシバ							26	4	9月28日
	ハチクマ							6		
	ツミ							2		
大宮花の丘農林公苑 (さいたま市)	サシバ			4						8月19日～9月5日
	ツミ			1					2	9月22日～10月6日
白岡市寒ヶ谷	サシバ			5						9月9日
七里総合公園(さいたま市)	サシバ								2	9月16日
鴻巣市大間	サシバ								20	9月21日
岩槻文化公園(さいたま市)	サシバ		2							9月22日
緑区大門(さいたま市)	サシバ			6						9月30日

● 県内各地のシギ・チドリの渡り状況

当会ホームページでは、秋の渡りの時期にはシギ・チドリ類についても専用サイトを設け、会員の皆様から観察情報をご提供いただいております。2020年は7月20日～10月14日の間に、19カ所、129件の情報を頂きました。チドリ科5種、シギ科17種、その他3種(セイタカシギ、タマシギ、ツバメチドリ)の計25種が記録されました。結果を表2に示しました。「シギを観察したので投稿しようと思ったら、もう締め切りが過ぎていました」という、申し訳ない声も頂いております。調査へのご協力、誠にありがとうございます。

表2 県内各地で観察されたシギ・チドリ類

観察地	メッシュコード	ケリ	ムナグロ	イカルチドリ	コチドリ	シロチドリ	オオジシギ	タシギ	オオハシシギ	ツルシギ	アオアシシギ	コアオアシシギ	クサシギ	タカブシギ	キアシシギ	イソシギ	トウネン	オジロトウネン	ヒバリシギ	アメリカウズラシギ	エリマキシギ	アカエリシギ	セイタカシギ	タマシギ	ツバメチドリ	種数
春日部市倉堂	5439-0622		○		○		○				○		○	○	○	○	○	○	○						○	12
春日部市倉堂	5439-0623				○																					1
春日部市藤塚	5339-7661			○				○								○		○								4
春日部市武里中野	5339-7640							○																		1
加須市大越	5439-2409															○								○		2
川越市久下戸	5339-6473		○		○	○		○	○	○				○	○				○				○		○	11
川越市伊佐沼	5339-7411		○	○	○	○					○					○	○	○	○	○	○	○	○			13
川越市官間	5339-7339									○																1
川越市伊佐沼(南部)	5339-7401																							○		1
行田市須加	5439-2319	○	○			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20
行田市斎条	5439-2306				○								○													2
さいたま市緑区芝川第一調節池	5339-6547				○						○					○							○			4
さいたま市緑区 芝川沿い	5339-6556															○										1
さいたま市西区 大久保農耕地	5339-6475		○																							1
さいたま市岩槻区	5339-7528															○										1
幸手市神原	5439-0579				○								○			○										3
志木市柏町	5339-6405			○																						1
志木市柏町	5339-6406			○												○										2
蓮田市黒浜	5339-7574		○									○											○	○		4
羽生市三田ヶ谷	5439-2408					○							○													2
羽生市常木	5439-2428				○																					1

<謝辞>

タカ及びシギ・チドリの渡りにつきまして、以下の皆様からホームページ専用サイト等へ情報をご提供いただきました(五十音順、敬称略)。調査部及びIT委員会一同、心より御礼申し上げます。

◎タカ渡り情報：榎本秀和、神田敏夫、小林みどり、嶋田富夫、田中幸男、千島康幸、藤原寛治、吉原早苗

◎シギ・チドリ渡り情報：浅見 徹、石川敏男、今村富士子、植平 徹、大井智弘、大谷泰久、小林寧子、小林みどり、佐野和宏、佐藤千砂、篠崎貴子、鈴木 功、野口 修、野津博毅、平田 楽、廣田純平、星野紫乃、山部直喜

2020 年秋 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉 調査部

日 時：2020 年 9 月 21 日 9:35～11:20

場 所：さいたま市 大久保農耕地

天 候：曇り

秋雨前線は南へ離れましたが、関東地方は湿った空気の影響で午前中は雲が広がりました。また、今回は新型コロナウイルス感染防止のため、一般公開を中止にしました。シギ・チドリ類調査を楽しみにしていた皆様には、ご迷惑をおかけ致しました。

当日、稲刈りは終わっていましたが、田は所々湿っている程度で、調査にはあまりよい環境とはいえませんでした。

そのような中、観察されたシギ・チドリ類は、3 種 34 羽（タシギ属不明種は種数に入

	A区	B区	As区	A'区
ムナグロ	1			
タシギ	7	1		3
アオアシシギ	2			
タシギ属不明種		4	1	15

れない) で、一昨年と比較すると、種数で 2 種、個体数で 12 羽多くなりました。各地区の結果は上の表の通りです。

下の表は過去 10 年間の調査結果をまとめたものです。それ以前は「しらこぼと」2012 年 12 月号 (No. 344) をご覧ください。

※表の中の「タシギ属不明種」はタシギ以外のタシギ属のため、種数には入れませんでした。(石井 智)

秋 の カ ウ ン ト 結 果 (大久保農耕地)

年	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
調 査 日	9/19	9/17	9/23	9/15	9/23	9/19	9/18	9/17	9/16	9/21
天 候	晴れ	晴れ・曇り	曇り	曇り	晴れ	雨	快晴	晴れ		曇り
1 ムナグロ				17	1	13	5		雨天のため中止	1
2 オオジシギ							2			
3 タシギ	7		21	23	1	44	15	20		11
4 オグロシギ			1							
5 アオアシシギ										2
タシギ属不明種			7	4	6		2	2		20
合 計	7	0	29	44	8	57	24	22		34

※2013年の本調査(9/16)は台風のため中止したので、参考調査の記録を載せました。

夏季分布調査データを引き続き募集中！

お手元に、今年の夏季分布調査期間中(2020 年 5 月 11 日～7 月 10 日)のデータが眠っていませんか。今からでも間に合います。是非「調査部」宛てにお送りください。調査部員一同、首を長くしてお待ちしています。

今回の調査は、前回までの 5 年間ではなく、2 年間という短期で行う予定にしていますので、集まるデータが少なくなりがちです。どうか、絶大なお協力をお願いします。

県内野鳥分布調査

いよいよ冬季調査のスタートです。

個人的なバードウォッチングは新型コロナウイルス感染リスクの低い行動です。冬季調査にぜひご参加ください。

1. 調査期間

2020年12月1日から2021年1月31日

2. 調査方法

調査場所ごとに1日単位で、ドバトなどの番外種を含む全出現鳥種を報告してください。

3. 調査場所の報告方法

次のいずれか1つを選んでください。

① 地名

調査範囲は数百m四方を目安とし、あまり広げないでください。住所や具体的な目標物（地図で探せるもの）と調査場所の位置関係を併記していただくと大変ありがたいです。

大字(おおあざ)の場合、広大なところでは、例えば「〇〇市大字〇〇の北東部」とか、より範囲を絞った場所の記載があれば助かります。

② 3次メッシュ

取りまとめ担当としては、一番ありがたい方法です。スマホをお持ちの方は、右記のアプリで調べるのが簡単です。

③ 緯度・経度

緯度・経度で示されるのは1地点ですから、調査範囲の中央付近で測定してください。調べ方は、会誌2020年3月号を参照してください。

4. 報告の方法

調査期間中にも随時受け付けます。

① 郵送

本会ウェブサイトの報告用様式(A4)など。

② メール

本会ウェブサイトの Excel 様式ファイルのほか、メール本文に「調査年月日、調査場所、報告者名、出現鳥」を記載した報告、手書きをスマホで撮影して添付した報告も受け付けます。

送信先：research@wbsj-saitama.org

メッシュ確認アプリについて

現在地の3次メッシュが確認できるアンドロイド用アプリ「野外調査地図」の紹介です。

① インストール

「Google Play ストア」で「野外調査地図」を検索し、インストールします。

② 設定 (図参照)

アプリを開いたら右下の  をクリックし「基本メニュー」を開き、「設定」をクリックします。次に、設定の画面で「世界測地系の地域メッシュを使用する」にチェックを入れ、上部の「変更を確定」をクリックしてください。
☆世界測地系: 調査部で使用しているメッシュ。



③ 使い方

アプリ「野外調査地図」を立ち上げて、矢印が画面に無い場合は、「現在地」をクリックしてください。矢印の先端が現在地です。



矢印の先端が赤い四角の枠内にあれば、8桁の数字が現在地の3次メッシュで、赤枠内がメッシュの範囲です。8桁の数字の横に「W」があれば世界測地系です。「W」が無ければ、設定をやり直してください。



愛犬との早朝散歩にて 浅見 徹（さいたま市）

4月21日午前6時頃、大宮第二公園の「記念の森」付近を通りかかると、ヤブサメの声！信じられずスマホの動画機能で声を録音。家に帰って『CD鳴き声ガイド日本の野鳥』で確認すると間違いなし。ヤブサメがこの公園に来てくれたことも嬉しいが、ヤブサメの鳴き声をまだ聴きとれることが分かったことがもっと嬉しい。近年、聴覚の衰えを感じていたのだが、まだ大丈夫だ。

5月25日早朝、大宮体育館南側の斜面林に入ると、ムシクイ類らしい声。葉の茂った小枝の間を動き回る姿も見える。またまた、スマホの動画モードで鳴き声を録音、家で確認したら、オオムシクイに間違いなし！

現地では「チョチョリ チョチョリ」と聞こえ、初めはメボソかなと思ったのだが、どうも違う。この違和感は、家に帰って図鑑を見て解決。メボソムシクイの鳴き声は「チョリ チョリ」と4節なのですね。一方、オオムシクイの鳴き声は3節。この違いは明確で、しっかり覚えました。

初めての遭遇 遠山和夫（越谷市）

8月24日、午後の出来事です。

妻が「空から黒いものが落ちて来たよ。カラスと違う鳥みたい」と叫んで知らせに来ました。急いで台所の小窓から覗くと、すぐにタカだとわかりました。こんな住宅地の畑に！

急いで2階に駆け上がり、250mmズームで窓のカーテン越しに構えました。距離にして30m強、AFモードで20コマ程撮影（下の写真）しました。状況として、獲物が重かった



のか、空腹で舞い降りたのかは分かりません。20年間、野鳥撮影をして初めての遭遇でした。

20～30分程、むさぼり食べてから獲物を掴むと飛び去りました。鳥はオオタカ成鳥ひだと思います。

総会などについて

事務局担当 海老原美夫

当会規約によれば、「第15条 総会は会員をもって組織し、通常総会は毎年1回5月又は6月に開く」となっていて、令和元年度収支決算はすでに監査も済んでいます。しかし、コロナ禍の行方が見通せず、令和2年度総会を開催できずにいます。全国の支部の中には、書面による総会を開催している所もあるようですが、会員数を考えると、当会では難しいと考えます。

今までは本部からの講師による記念講演を聞いた後に総会を開くのが通例となっていました。それらを省き、参加人数を制限しての開催が、先ず考えられます。それでも、感染者0を目指す会運営上の優先度を考えると、なかなか踏み切ることができません。できれば年度内に、場合によっては来年度の総会と同時に開催することなども、視野に入れざるを得ません。

なお、探鳥会参加費収入がないことから、会の財政面をご心配下さっている向きもあるようですが、一般会計と事業部会計を合わせた年間総収入に対する参加費収入の割合は、5.0%以下です。参加費収入がないから直ちに会の財政が破綻するというものではなく、万一財政に問題が発生した場合に備えた「運営準備積立金」は、例年本誌8月号総会報告の中でご紹介している通りです。

大切な会費収入のもとになる会員数の減少傾向は、コロナ禍の前から続いています。難しい現状の中で新たにご入会くださる方々もいらっしゃいます。

メールによる予約や人数制限など、探鳥会についても様々な工夫をしています。総会はまだ遅くなりそうですが、引き続き会員の皆様のご力添えをお願いします。



野鳥情報

戸田市 彩湖 ◇4月17日、彩湖でカンムリカイツブリ夏羽2、コサギ、ダイサギ。道満釣り堀でゴイサギ1、アオサギ、ダイサギ、コサギ、カワウ、コガモ1つがい、ウグイスの声、ヒヨドリ、ハシボソガラス。4月19日、彩湖でコアジサシ6、久しぶりに垂直ダイビングを見る。カンムリカイツブリ、コサギ、ダイサギ、ツバメ、ムクドリ。水たまりのあるグラウンドの芝生でツグミ7、あまりの美しさにしばし見とれる。道満釣り堀でカイツブリ1、コガモ2番いとみ1、アオサギ、ダイサギ、カワウ、ヒヨドリ（陶山和良）。

伊奈町小室 埼玉県立がんセンター～鷹の台高校付近 ◇4月19日、コガモ、アオジ、カイツブリ、オオバン、カルガモ、ホオジロ、メジロ、スズメ、シジュウカラ、カワラヒワ、キジ、キジバト、カワセミ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、オナガ、ムクドリ、ダイサギ、コゲラ、カシラダカ、エナガ27など。ニューシャトル丸山駅周辺でカッコウの声を聴く。5月3日、オオヨシキリ、コヨシキリ、コガモ、ツバメ、カイツブリ、カルガモ、セッカ、キジ、ヒヨドリ、ムクドリ、アオサギ、ダイサギ、キジバト、ヒバリ、スズメ、カワラヒワ、エナガ、コガラ、オオタカ、ホオジロ、ウグイス、キビタキ、オナガ、コジュケイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、モズ、シジュウカラ、カワセミ、上空にカワウなど（村越百合子）。

さいたま市岩槻区本宿 ◇4月20日、ムナグロほぼ夏羽3、冬羽1。4月23日、ムナグロ68、コチドリ1、コサギ1、チュウサギ1（鈴木紀雄）。

さいたま市の鴨川 ◇4月21日、堤の桑の木にモズ幼鳥1、尾が短く、くちばしは黄色。近くでコサギ5（大塚純子）。

蓮田市 山ノ神沼周辺 ◇4月21日、農家の庭先の芽吹いたばかりの一本の柿の木にツ

グミが10数羽とまっていた。近くの畑でも5～6羽のツグミが採餌していた。渡去前に群れてきたようだ。他にコガモ、カルガモ、オオバン、コサギ、ダイサギ、ゴイサギ、ヒバリ、ツバメ、モズ、ヒヨドリ、ハシボソガラス、ムクドリ、キジバト、スズメ、カワラヒワ、ハクセキレイ、セッカ、チョウゲンボウなど（長嶋宏之）。◇5月3日、コアジサシ2がダイビングを繰り返していた。他にカルガモ、オオバン、ダイサギ、コサギ、ゴイサギ等（関口明宏）。

さいたま市岩槻区 岩槻文化公園 ◇4月21日夕刻、ツグミ約20が次々に飛来して林の木にとまった後、下の篠藪に飛び込んで墜入り。他にキビタキの声など。5月1日、キビタキの美しい姿確認。カケスの「ジャー」が聞こえる（鈴木紀雄）。◇4月29日、キビタキの轉りが2ヶ所で聞こえ、姿も確認。アオジとエゾムシクイの轉り。カケス1飛ぶ。オオタカ1飛ぶ。ヒヨドリ10、北へ（藤原寛治）。

蓮田市黒浜 国立病院機構東埼玉病院内 ◇4月23日、ヤマガラ、カケス、エナガ。アカハラの声が林内に響く。笹藪にクロジ♂1（鈴木紀雄）。

越谷市 越谷レイクタウン ◇4月24日、大相模調節池付近上空でアマツバメ1。4月27日、大相模調節池でエゾムシクイの轉り（長野時彦）。

川越市 伊佐沼 ◇4月24日、オオハシシギ夏羽2（下写真）。遊歩道脇、数メートルの距離にいた。人馴れしている様子だった。4月25日早朝、オオハシシギ夏羽1。1羽になっていた。この日が終認との事。5月1日、シマアジ♂1。シマアジ♂1は5月9日にも同地で観察できた（鈴木 功）。



さいたま市西区 秋葉の森総合公園(53397425)

◇4月25日午前9時～9時30分、公園付近の上空でアマツバメ100ほどが南方面から旋回をしながら、北の方面へ飛んで行く。4月29日午前、キビタキ、オオルリ、センダイムシクイなど（嶋田富夫）。

松伏町 松伏総合公園周辺 ◇4月25日、公園東側の水田でチュウシャクシギ1。4月23日及び25日、公園内でオオルリ♂1。5月5日、公園周辺の水田でチュウシャクシギ1。5月7日、公園南側の水田でチュウシャクシギ2（尾上愛実）。

蓮田市 西城沼公園周辺 ◇4月25日、塀に近づくのと隣の植木畑で2羽のシジュウカラがジュクジュクと文句を言っている。「アッチ行け！ 近づくな！」と言っているようだ。近くで雛を育てているのだろうか。4月28日午前6時30分頃、30～40羽のヒヨドリが北に渡って行った。そういえば、近頃ヒヨドリの声が小さくなってきたようだ。モズ♀が電線で「チュッチュッチュッギチギチギチ」。モズ♂が側にきたら、♀は飛び去ってしまった。残った♂は小さな声で「ギチギチギチ」。5月3日、数日来、コジュケイの囀りを聞く。まだ健在だと言わんばかりに。5月6日、屋敷林からキビタキの囀り。久しぶりだ。ウグイスが唱和して、爽やかさが増す。5月11日、我が家のTVアンテナにエナガが2羽とまって、「チーチーチー」（長嶋宏之）。

所沢市山口 菩提樹池 ◇4月25日午前10時30分、ヤブサメ、キビタキ初認。5月2日午前10時、センダイムシクイ初認。5月6日午前11時、シメ約100の群れが上空を次々通過した（小林 茂・ますみ）。

所沢市山口 ◇4月26日午前9時20分、マンシヨンの中庭にツミ♀が飛来した。コブシやケヤキの木を時々鳴きながら移動した。1～2分の出会いだった。4月28日午後1時30分、ヒヨドリが20羽と10羽の群れで立て続けに、マンシヨンをかすめる様に目の前を西から東へ飛んだ。4月30日午後2時45分、サンショウクイが鳴きながら飛んだ。5月1日午前9時45分、雑木林の中からオ

オルリの声を聞いた。5月3日午前5時、アカハラの声で目覚めた。5月9日午前9時30分、雑木林からキビタキの声が聞こえるのを自宅で確認。11日までの滞在だった（小林 茂・ますみ）。

さいたま市南区の笹目川 ◇4月26日、イワツバメ6。2本の長い冠羽をつけたコサギ1（陶山和良）。

さいたま市岩槻区太田 ◇4月26日、「ヒリリリ…」と鳴きながら高空を西へ西へと飛ぶサンショウクイ1（鈴木紀雄）。

松伏町上赤岩 ◇4月27日、松伏第二中学校北側の水田でムナグロ12、キアシシギ4、チュウシャクシギ4。4月29日、キアシシギ3、チュウシャクシギ4。5月5日、キアシシギ18ほど、キョウジョシギ♂1（尾上愛実）。

さいたま市南区 白幡沼 ◇4月27日、カワセミ、カイツブリ、ダイサギ、アオサギ。バンがけたたましく鳴きながら、お尻の白い2つの紋を見せながら泳いでいた。その横にある水中から出ている木の枝にもう1羽のバンがとまっていた（陶山和良）。

草加市柿木町 ◇4月27日、中川土手でアカハラ1。4月28日、国道4号線緩衝帯でセッカ3。5月2日、中川土手でガビチョウ1、ビンズイ1。5月3日、ムナグロ17、サンショウクイ2（長野時彦）。◇4月18日、柿木田んぼで ハヤブサ若鳥1、コチドリ2、ムナグロ40、タシギ3。4月25日、ムナグロ51。4月29日、ムナグロ69、チュウシャクシギ1。5月3日、コチドリ4、ムナグロ32、チュウシャクシギ2。5月6日、ムナグロ54、キアシシギ1、チュウシャクシギ1、タシギ1（鈴木 功）。

越谷市東町 ◇4月27日、中川土手でエゾムシクイの囀り。5月10日、中川でキアシシギ1。5月11日、中川土手でウグイスの囀り（長野時彦）。

表紙の写真

スズメ目ヒタキ科ツグミ属マミチャジナイ

3年目にようやく会えました。今年の戸隠森林植物園はたくさんのマミチャジナイで秋色に染まっていました。藤原寛治（さいたま市）



1 月も、事前予約制の探鳥会を開催します。 普及部

来年 1 月の探鳥会も、すべて事前予約制です。事前予約制にして参加人数を絞ることで、ソーシャルディスタンスを維持しやすくするなどして、感染のリスクを極力抑えようという趣旨です。したがって、予約なしでの当日参加はできませんので、ご承知おきください。

各探鳥会に共通の開催要項は以下のとおりです。ご協力、お願いいたします。

1. 日本野鳥の会会員限定の先着順（ただし、埼玉会員優先）とする。（ゴシック体の部分が前回からの変更点です。この方が、より参加しやすいかと思います。）
2. 申し込み方法は、コロナ感染状況に（メール等で）迅速に対応するため、当会のホームページからの申し込みとする。（12 月初旬に、ホームページに申し込み様式を掲載する予定です。）
3. 探鳥会の運営は「コロナ禍の下での探鳥会運営マニュアル」（最新版が、当会ホームページの「探鳥会」>「今月の探鳥会」から閲覧できます）に沿って実施する。
4. 参加の必須条件として、各自でマスクまたはフェイスシールドなどの飛沫防止策を講じる。（ご用意のない方は参加をご遠慮ください。）
5. 筆記用具や観察用具（双眼鏡等）は、各自で用意する。
6. 万一、探鳥会開催後に参加者から感染者が出た場合には、参加者名簿を保健所に提出する。
7. 新型コロナウイルスの感染拡大が再度加速する場合は、開催を中止する。（中止の場合は、申込者全員へメールで連絡します。）

千葉県・ふなばし三番瀬海浜公園探鳥会（要予約）

期日：1 月 9 日（土）

集合：午前 9 時 30 分、ふなばし三番瀬海浜公園バス停留所付近。

交通：JR 武蔵野線 南浦和 7:44→西船橋で総武線 8:37 に乗換え、船橋 8:40 着。京成バス 9:00 発 船橋海浜公園行きに乗車し、終点下車。京成バス乗り場は京成船橋駅付近にあります。リーダーが案内します。

解散：正午ころ、集合地で。

定員：20 名（申し込み多数の場合は先着順）
担当：菱沼（一）、佐久間、佐野、杉本、浅見（徹）
見どころ：8 月に開催できなかったのも、1 年ぶりの開催。今年もきっとミヤコドリ。

さいたま市・民家園周辺探鳥会（要予約）

期日：1 月 11 日（月・祝）

集合：午前 9 時、浦和くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR 浦和駅東口①番バス乗り場から、東川口駅北口行き 8:37 発で「念仏橋」下車。

解散：正午ころ、浦和くらしの博物館民家園。

定員：10 名（申し込み多数の場合は先着順）
担当：伊藤、大井、須崎、手塚

見どころ：芝川第一調節池のベストシーズン。

カモ類・猛禽類を期待。予想外の鳥にも。
ご注意：コースの途中にトイレはありません。
防寒対策をしっかりとお願いします。

松伏町・まつぶし緑の丘公園探鳥会（要予約）

期日：1 月 16 日（土）

集合：午前 9 時、松伏町まつぶし緑の丘公園管理棟前。

交通：東武伊勢崎線 せんげん台駅東口、茨急バス③番乗り場から松伏町役場行き 8:48 発で「まつぶし緑の丘公園」下車。

解散：正午ころ、集合地で。

定員：20 名（申し込み多数の場合は先着順）
担当：佐野、青木、小林、長野、橋口、山部
見どころ：公園の池でカモなどの水鳥、古利根川では猛禽やシギ・チドリに期待です。

さいたま市・三室地区探鳥会（要予約）

期日：1 月 17 日（日）

集合：午前 9 時、「みむろ桜広場」（さいたま市立病院バス停（終点）から徒歩約 5 分）。

交通：JR 北浦和駅東口バスターミナルから 8:23 発東武バス「さいたま市立病院行」



行事報告

2月15日(土) 上尾市 丸山公園

参加: 38(会員34)名 天気: 曇

コジュケイ キジ マガモ カルガモ ハシビロガモ キジバト カワウ ダイサギ コサギ トビ コゲラ アカゲラ モズ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (33種) (番外: ドバト) 暖かな朝、開始前、ホオジロがさえずり、キジやコジュケイが鳴く。かいぼり中の大池に水はなく、心なしか鳥の出が悪い。林の中ではラブラブのメジロ、春だなあー。後半は、3班編成にして間をおいて静かに歩く。ベニマシコ、カシラダカ、アオジの姿も。全班で見られたらよかったが……下見で出たアリスイのペアはもう旅立った? 幼稚園児の歓声も春の声としよう。(近藤龍哉)

2月15日(土) さいたま市 岩槻文化公園

参加: 44(会員40)名 天気: 曇

カルガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン イカルチドリ イソシギ トビ オオタカ カワセミ アリスイ コゲラ アカゲラ モズ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス キクイタダキ シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ アカハラ ツグミ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (41種) (番外: ドバト) 最初の水場ではカワラヒワ、アオジ、シメなどの水浴びが見られ、参加者から「かわいいい」との声があった。テストコースに出て間もなく、遠くの木々の枝にモズのペアが仲良く並んで首振りダンスを繰り返す。その後、入れ替わるようにアリスイが登場して盛り上がった。元荒川ではイソシギ、イカルチドリを観察、川岸にじっと佇むカワセミ、

最近増えているオオバンの群れにも出会えた。さらにカシラダカ、ホオジロ、エナガも複数回見られ、4月上旬並みの暖かな陽気の下、ゆったり気分で見物を楽しんだ。(長野誠治)

2月16日(日) さいたま市 見沼自然公園 Young

参加: 24(会員17)名 天気: 曇時々雨

オカヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ オナガガモ トモエガモ コガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ バン オオバン カワセミ コゲラ モズ カケス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロ ムクドリ シロハラ アカハラ ツグミ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ シメ ホオジロ アオジ (33種) どんよりとして、いつ降りだすかという天気だったが、24名の皆様にお越しいただいた。こんな天気のため見沼自然公園は貸し切り状態。まずは公園のアイドルのトモエガモと池のカモたちをじっくり観察した。その後は公園をぐるっと一周。公園の芝地ではカワラヒワの群れ、林の奥ではアカハラがじっくり見られた。最後にはカワセミが現れてくれた。(河邊 健)

2月16日(日) さいたま市 三室地区

雨のため中止。

(須崎 聡)

2月16日(日) 志木市 柳瀬川

参加: 14(会員10)名 天気: 雨

キジ ヒドリガモ アメリカヒドリ マガモ カルガモ オナガガモ コガモ キジバト カワウ アオサギ コサギ オオバン イカルチドリ イソシギ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヒヨドリ ムクドリ ツグミ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ (25種) (番外: ドバト) 朝から雨の予報が出ており実施可否判断が悩ましい日。集合場所に10名を越える探鳥希望者が集う。降雨の場合、途中から引き返す条件で探鳥会を開始。堤防から水門付近～鉄橋下でアメリカヒドリを含む13種が出現。水谷田圃観察中に降雨がひどくなり鉄塔付近で観察中止し駅に引き返す。駅のコンコースで鳥合わせを行い散会。短時間での25種は昨年同時期の32種と比べても鳥たちの活動に目を見張るものがある。(鈴木秀治)



●ご注意！ただ今銃猟期間中

毎年カワウやゴイサギなどの鳥類とタヌキ、キツネなどの獣類、鳥獣保護管理法施行規則によって選定された合計 48 種類の鳥獣は、11 月 15 日～翌年 2 月 15 日が銃による狩猟期間になっています。

イノシシ又はニホンジカは、定められた地域に限り 1 ヶ月延長され、3 月 15 日までが狩猟期間になりますが、2 月 16 日以降の猟法はわな猟に限られています。

銃猟が行われる地区は、「埼玉県鳥獣保護区等位置図」で検索すれば、ネット上で見ることができます。郵送による販売も行っています。

銃猟可能地域のある方面にお出かけの方は、銃猟が行われている地域がどこからどこまでかを十分に調べ、安全の確保をぜひお願いします。

●見沼・さぎ山交流ひろば運営協議会の会議に出席

10 月 16 日(金)さぎ山記念館(さいたま市緑区)で開催された令和 2 年度第 3 回運営会議に当会を代表して浅見徹幹事が出席し、2021 年 3 月 13 日(土)に実施が計画されている見沼たんぼクリーンウォーク(クリーン大作戦)などについて意見を交換しました。

また、「私の好きな見沼たんぼ 2020 写真コンクール」入賞者への副賞として、「バードウォッチング野帳」15 冊(1 セット 3 冊×5 セット)を担当者に手渡しました。

●会員数は

11 月 2 日現在 1,495 人です。

●ごめんなさいコーナー

前月号本欄「会員数は 11 月 1 日現在 1,499 人です。」は、「10 月 1 日現在 1,499 人です。」の誤りでした。

活動と予定

●10～11 月の活動

10 月 12 日(月)、『しらこぼと』11 月号入稿。

10 月 16 日(金)午前、同 11 月号埼玉事務局発送分納品。

同日午後、10 月号を『野鳥』誌と同封発送しない会員向け袋詰め作業、浦和中郵便局から発送(海老原教子、海老原美夫、山部直喜)。

10 月 28 日(水)～10 月 30 日(金)、メール交換による役員会を開催。1 月に 7 回の探鳥会を開催する議案を承認した。

11 月 2 日(月)～11 月 14 日(土)、メール交換による『しらこぼと』12 月号編集・校正作業(相原修一、浅見徹、海老原美夫、長嶋宏之、藤原寛治、森本國夫、山口芳邦、山部直喜)。

編集後記

左手の親指が「ばね指」になってしまった。痛みもあるし、不自由。医者から処方された軟膏を毎日塗るが 1 ヶ月以上塗っても効果は微妙。ある人から注射が効くと聞き、注射を打ってもらったところ、嘘のように軽快になった。カメラの手持ち撮影にご用心、ですね。(藤)

しらこぼと 2020 年 12 月号(第 441 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
郵便振替 00190-3-121130 URL <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org
編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org
住所変更などの連絡は gyomu@wbsj.org または TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635
〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル (公財)日本野鳥の会会員室へ
本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社